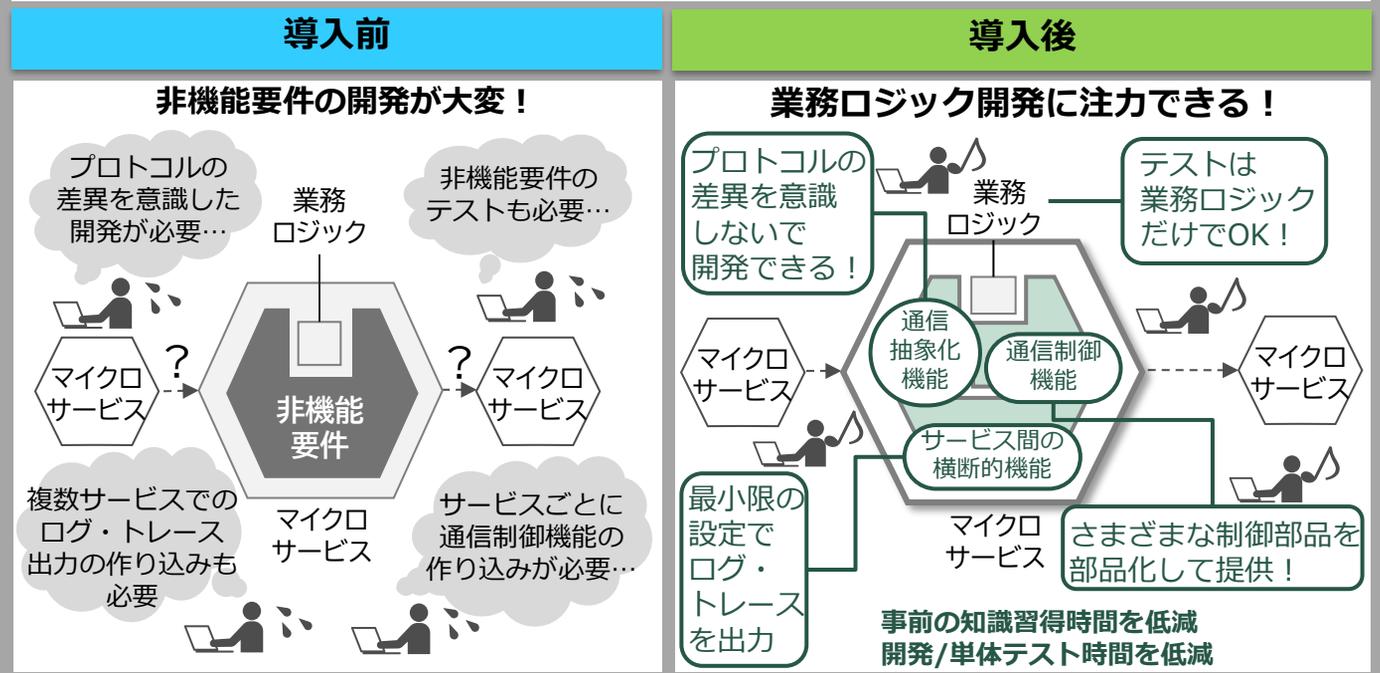


HMP-ADIFにより開発期間を短縮し「開発部門の作業工数」と「使用機器の消費電力」を削減
(CO₂排出量32%削減 (*1)参照)

■お客さまの課題

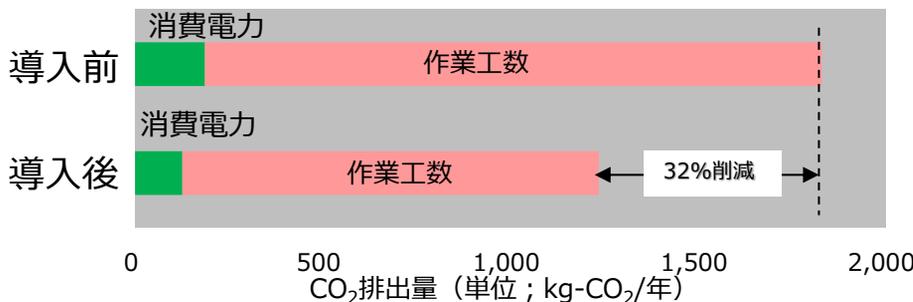
マイクロサービスアーキテクチャでのアプリケーション開発は、サービス間の通信プロトコルの使い分けやその制御機能、サービスをまたがるログ・トレースの出力機能を開発・テストする必要がある、モノリシックなアプリケーションに比べ開発工数が増加する。

■機能単位：10機能(10個のマイクロサービス)を連携して統合アプリ基盤を開発する業務



■効果

HMP-ADIFの導入により、非機能部分の実装や品質は製品に任せることで、アプリケーション開発/テスト工数を削減し、開発/テストでの機器の利用時間（消費電力）を削減することが可能。



- 環境負荷低減要因
 - ・消費電力の削減
 - ・作業工数の削減
- 環境負荷増加要因
 - ・増加要因なし

(*1) **CO₂排出量：32%削減 (594kg-CO₂/年削減)**

- ・環境負荷要因は評価条件や評価モデルにより値が異なります。
- ・本評価は、(株)日立製作所のCO₂算定手法であるSI-LCA(*2)を使用し、2024年12月時点の情報で使用ステージを評価対象として算定しています。

(*2) **SI-LCA : System Integration-Life Cycle Assessment**

SI-LCAは「平成17年度情報通信技術(ICT)の環境効率評価ガイドライン」(日本環境効率フォーラム平成18年3月発行)に準拠した手法です。

情報サイト >> <https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/hmp/index.html>

お問い合わせ >> https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/general/form.jsp?UM_Key=hmcc